

エンジニアパーク

# Engineer Ring Park

私は1971年にオホーツク総合振興局管内の興部町に生まれ、小中学校は地元の興部町、高校時代は隣町の紋別市の高校に通い、大学時代は北見市で過ごしました。また、小学生のころから野球を始め、中学・高校・大学とずっと野球を続けました。現在も無理しない程度に草野球を楽しんでいます。また、最近は小学生の娘と3km程度の親子マラソンにもチャレンジしています。

大学卒業後、札幌市の建設コンサルタントに就職し、現在の会社は3社目になります。最初の会社では、主に道路防災施設や橋梁下部工の設計に携わりました。また、防災点検や橋梁点検なども経験させていただきました。2社目は下請けが主の会社で、水田区画整理、農業用排水路、暗渠などの農業土木の設計に携わりました。そして現在の会社では、農業土木の設計を中心に、橋梁詳細・補修設計、河川構造物の設計、各種点検など多種多様な業務に携わっています。これまで在籍した3社の中で、様々な工種や立場を経験させていただくことによって、技術者として少しは成長できたかなと感じています(まだまだですが)。感謝しています。

昨今、土木・建設業界における若者離れが問題になっています。3K(きつい・汚い・危険)のイメージや談合などによる社会的信用の失墜が若者から敬遠される要因だと言われています。しかし、土木・建設業界には人々の生活基盤を作り、維持管理するという大切な使命があります。これからは、今までの仕事のやり方を見直し、職場環境を改善し、若者にとって魅力のある業界にしていくことが必要だと感じています。先日、4歳の息子と公園の砂場で遊びました。子供は砂場で遊ぶのが大好きです。砂場遊びは、道や川を造ったり、トンネルを掘ったり、橋を架けたりします。まさに土木です。このような子供の土木に対する好奇心がある限り、環境を整備すれば若者が土木・建設業界に再び興味を持ってくれるものと信じています。

## 岩井 剛 (いわい つよし)

●建設部門 (鋼構造及びコンクリート)

### 勤務先

北王コンサルタント株式会社  
札幌支社



→次号は、鈴木聡明さん(農業部門)

私は札幌市生まれで、6年間、内地の大学・大学院で生態学を学んだ後、Uターンして現在の会社に就職しました。今年で15年目になります。

現在は、環境調査や環境影響評価、生物多様性保全に係わる仕事に従事しています。環境屋は設計と違って、道路や橋のような形では成果が残らないと言われるますが、近年では環境保全措置として移植を実施したり、ビオトープを造成することが

増えていきます。入社した当初に携わったこれらの成果が、現在も引き続き維持されている状況を確認できた時が、環境技術者としてやりがいを感じる時です。生き物相手ですので難しい課題も多いのですが、それぞれの生き物にあった保全ができるように努力していきたいです。また、生物多様性地域戦略やレッドリスト等の生物多様性に係わる計画も、形が残る仕事と言えます。これらは、時代と共に見直しが必要になりますので、最新の知見を得られるよう技術研鑽に努めたいと思います。

技術士については、平成18年度に建設部門、平成23年度に環境部門の技術士を取得し、昨年度(平成28年度)は森林部門に合格することができました。受験の理由は様々ありますが、仕事の幅を広げたいという思いの他に、これから受験される方の力になりたいという思いが大きかったです。各部門の受験では試験制度がすべて異なったため、合格までかなり苦労しました。せっかく合格したのですから、自分の経験を少しでも伝えられたらと思い、受験指導のお手伝いもしています。近いうちに試験制度の見直しが予定されています。試験制度が変わったら、また受験してみようかなと、いまはモチベーションを高く持っています。

## 中村 裕 (なかむら ひろし)

●建設部門(建設環境)  
●環境部門(自然環境保全)  
●森林部門(森林環境)

### 勤務先

株式会社ドーコン 環境保全部



→次号は、井上 剛さん(環境部門)